



# 最上エコポリス通信

— mogami ecopolis tsushin —

2019年10月号  
山形県最上総合支庁



## 「稲の適期刈取りと農作業事故ゼロへ！」啓発キャラバンが出発！



今年、最上地域では大きな気象災害もなく、実りの秋を迎え、稲の収穫作業が進んでいます。

稲刈りシーズンを前にした9月6日、最上総合支庁舎前で「山形おいしさ際立つ！米づくりプロジェクト」の適期刈取推進・農作業事故防止キャラバン出発式を行いました。

農林水産部佐藤技術戦略監のあいさつに続き、最上地区農業機械士会の沓澤衛会長が「適期刈取りを徹底するとともに、安全を最優先して収穫作業を行う」と宣誓、関係機関の広報車がキャラバンに出発しました。続いてキャラバンは、新庄市泉田地区の圃場で「雪若丸」と「つや姫」の実り具合を見て、刈取開始の目安となる期日を記した旗を生産者に手渡し、適期収穫を率先するよう呼びかけました。

県では、10月31日までを秋季農作業事故防止運動強化期間とし、啓発活動を進めて参ります。



[農業技術普及課 29-1330]

### シリーズ

大雨災害からの早期復旧・防災対策

## 平成30年8月豪雨から1年

～農地・農道の復旧状況～

水田などの農地、及び農道や農業用水路等の農業用施設の被害については、国の災害復旧事業により156箇所で行った復旧工事に組み入り、8月末時点で約50%が完成しております。また、国の災害復旧事業に該当しない小規模な災害については、県単独補助事業を活用して約1,800箇所で行った復旧工事に組み入り、9月末現在で約75%が完成しております。

県では、全工事の年度内完成を目指しています。

戸沢村農道



※同箇所を別角度から撮影

舟形町水田・農道



※同箇所を別角度から撮影

◆ 今後も早期復旧に向けご理解とご協力よろしくお願ひします。◆

[農村計画課 29-1344]

## 毒きのこに注意しましょう！



ツキヨタケ(有毒)

- ①知らないきのこは採らないこと。
- ②同じようなきのこがたくさん生えていても、それと似た毒きのこが混じって生えていることがあるので注意すること。
- ③少しでも不安を感じたら廃棄すること。
- ④安易におすそ分けはしないこと。
- ⑤「縦に裂けるきのこは食べられる。」「毒キノコは美しい。」「虫の食べたきのこは食べられる。」などという言い伝えは、科学的根拠の全くない迷信です。気をつけましょう。

[生活衛生室 29-1260]

特徴  
暗紫色のしみ



写真提供：山形県衛生研究所

# 最上地域の花の魅力を発信!

県知事賞



どりの最上の花の販売、花の写真や絵画・アレンジメントの展示など、花の魅力にあふれた2日間でした。

[農業振興課 29-1317]

9月14日・15日に、最上広域交流センター“ゆめりあ”にて、最上地域の花の魅力を広く消費者に知ってもらうことを目的とした「新庄・もがみフラワーフェスティバル2019」が開催されました。14日の品評会では、最上地域で生産された花き105点の出品があり、その中から25点が入賞。最優秀賞の県知事賞には、熊谷 大介さん(鮭川村)のバラ(サムライ'08)が選ばれました。

15日には、華道家元池坊の若手イケメン華道家「IKENOBOYS」のお二人による生け花実演やワークショップが行われました。「いけばなの流れと未来」と題した生け花実演では、観客とともに最上の花を生けるパフォーマンスもあり、会場全体が熱気に包まれました。

ほかにも農林大学の皆さんによる寄植え・ハーバリウム体験、色とりどりの



## 迫力満点! 削り出されるアート

木材の良さを身近に感じてもらうことを目的に、9月15日・16日に第14回東日本チェーンソーアート競技大会が開催され、県内を始め北は青森県、南は山梨県から15名のカーバーが遊学の森に集合しました。15日の「メインカービング」では、『「やま」新時代』をテーマにカーバーが腕を競いました。

16日の「スピードカービング」では、課題3部門の予選の後、各部門から1名ずつ決勝戦に進出。この3名が来場者の即席リクエストに応じた作品づくりに挑みました。

優勝は山形市の佐藤雄三さん。客席からの「バイオリン」のリクエストに見事に応えました。

[森林整備課 29-1348]



## 賑わいあふれる東北の「へそ」

宮城県大崎地域・秋田県雄勝地域・山形県最上地域の魅力を仙台圏の人たちにPRすることを目的とし、9月10日・11日に仙台市勾当台公園市民広場で、東北の「へそ」三県交流まつりを開催しました。

最上地域からは19店が出店し、「芋煮」や「肉そば」が大人気でした!会場ステージでは、真室川音頭保存会と真室川音頭会館、新庄そばガールズの皆さんから唄や演奏、踊りなどを披露していただき、

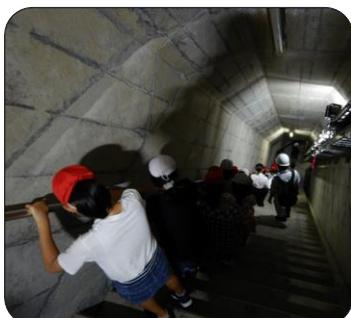
きてけろくん・かむてん・うめ子ちゃん・おおくらくんによる観光PRも行われました。

[観光振興室 29-1311]



## 神室ダムを見に行こう!

9月4日から20日までの期間、神室ダムで、ダムの役割を知っていただくためにダム見学を行いました。金山町立明安小学校、新庄市立沼田小学校、新庄市立萩野学園、仙台市の聖ウルスラ学院英智小学校、新庄市立本合海小学校の5校が来所しました。普段は入ることができないダムの内部を皆さん慎重に進んでいました。



[河川砂防課 29-1410]

## 無人で動く重機の見学

9月5日、一般国道344号で実施している法面対策工事の現場にて、新技術を利用した無人化機械施工の紹介と建設業の魅力を伝えるため、現場見学会を開催しました。

当日は県および市町村の自治体担当者と真室川町立あさひ小学校3年生が現場を見学しました。ラジコンで操作する機械に興味津々な様子でした。



[道路計画課 29-1394]

## いつもお蕎麦に戸沢村 9月3日

## 今月のジモト大学 10月6日

今回は、戸沢村の名物の「蕎麦」を中心に、農業の現状や特産品、蕎麦の魅力を体験できるプログラム。蕎麦打ち体験では名人2名を師匠に、水分調整、伸ばしや切りに奮闘していました。高校生は「貴重な体験でした」「お蕎麦おいしい！」と言って終始笑顔でした。

今回は11月3日(日)の「とざわ旬の市」。そばまつりも同時開催され、高校生が考えたお蕎麦に合う戸沢村特産のトッピングそばがふるまわれます。ぜひ戸沢村にお越しいただき、高校生が提供するお蕎麦をご賞味ください！



今月の一押しは、真室川町のプログラム！SNSのInstagramを活用し、町の魅力的なスポットやインスタ映えする人物・食べ物を写真に撮り、地域の魅力を再発見するプログラムです。普段なら見過ごしていたものも、ファインダー越しに見ることで、魅力を再発見できるかも！？

当日はプロカメラマンから写真の撮り方も学びます！Instagramで真室川町のインフルエンサーになろう！

イマの真室川を探求しよう！  
#instaまち歩きin真室川



[連携支援室 29-1238]

## 地元で働く魅力を知ってください！

シリーズ  
若者定着・人材確保に向けた取組み

県では、職場や地域で、若者一人ひとりが生き活きと活躍し、その姿に子どもたちがあこがれるような地域を目指して、若者定着・地元回帰に取り組んでいます。その一環として、9月5日、新庄南高等学校において、1年生を対象に、地元の様々な職場で働く若手社員の方から仕事のやりがいや暮らしについて語ってもらう特別授業を開催しました。【行政】金山町役場の笹原明日樺さん、【保育】新庄市中部保育所の青木梨乃さん、【製造】(株)ジイエムシーヒルストンの加藤知未さん、【福祉】新庄薬師園の松田直也さん、【サービス】ゆめみの宿観松館の高橋春菜さん、【看護】新庄徳洲会病院の佐藤唯さんの6名の先輩から、この特別授業のために手作りしていただいた“紙芝居”を使って、今の仕事に就いたきっかけや仕事をする上で大切にしていること、仕事での成功・失敗エピソード、休日の過ごし方など赤裸々に語っていただきました。

先輩方の仕事に対する想いや実際の暮らしぶりを聞いて、仕事に取り組む姿勢や責任感を学ぶとともに、自分の進路や将来について深く考える機会となったようです。

[地域産業経済課 29-1309]



日本の滝百選に選ばれた最上地域の滝は、戸沢村の白糸の滝！落差は約120mもあるんだよ☆紅葉の最上峡はすごきれいだよね～！

## 医療・介護の仕事を学びました！

小学生・中学生を対象とした医療・福祉分野の「進路を考える学習会」を、9月4日に真室川町立真室川中学校で、9月13日に舟形町立舟形小学校で開催しました。

真室川中学校では看護師・薬剤師・介護福祉士、舟形小学校では看護師・理学療法士・介護福祉士の方々から仕事の内容ややりがいなどの講話をいただいた後、仕事の体験を行いました。普段なかなか見ることのできない仕事を体験した児童・生徒の皆さんは、楽しく医療・福祉について学び、将来の職業に対する視野を広げることができたようです。

県では、地域の医療・介護分野の人材確保を図るため、小中学生と高校生を対象とした学習会等を、今後とも実施してまいります。

[保健企画課 29-1257]

《真室川中学校》

《舟形小学校》



## 慢性疾患児の保護者への支援

8月29日に最上総合支庁講堂で「慢性的な病気を抱えた子どもを育てる親の講演会」を行い、保護者や支援者（保健師、保育士など）25名が参加されました。

村山保健所の鈴木恵美子医務主幹より「慢性的な病気との程よい付き合い方～大人への移行ってなに？～」と題しての講演、難病相談支援センターの情報提供、保護者限定の懇談会を行いました。「普段から子どもが自分のことを自分で伝える習慣がつくよう、気をつけなければいけないと確認できた」などの感想がありました。

県では、今後も長期療養児の自立や成長支援について取り組んでまいります。



[子ども家庭支援課 29-1361]

## スマート農業最前線！

9月18日、最上総合支庁講堂にて産学連携につながる第86回最上夜学を開催しました。

スマート農業の第一人者である山形大学農学部片平光彦教授からAI・IoTを活用したスマート農業の最前線について話題を提供いただきました。その後の先生を囲んだ交流会では、参加者から「農業はもっともっとおもしろくなる！」との声が聞かれました。



[地域産業経済課 29-1307]

## お知らせ

### 令和元年度最上農業賞表彰式並びに記念講演会

日時：11月14日（木）13：30～16：10  
場所：大地会館（新庄市沖の町）

#### ■ 最上農業賞

優れた実績をあげ最上地域の農業振興に貢献された農業者や団体に贈られる賞

表彰式の後、「新たな農業」と言われる情報通信技術（ICT）やロボット技術等を活用する「スマート農業」の講演会を開催します。

[農業技術普及課 29-1326]

### 最上地域森の感謝祭2019

日時：10月5日（土）9：30～12：15

場所：舟形若あゆ温泉

参加無料

#### ■ 式典・森づくり活動

オープニングアトラクション、最上地域森林・林業功労者表彰、代表者記念植樹など

#### ■ 展示・体験コーナー

**県内初** 秋田県「鳥海山 木のおもちゃ美術館」の出張展示、ネイチャーゲーム、木工クラフト体験など



[森林整備課 29-1348]

### 薬と健康の週間

10月17日（木）から10月23日（水）は薬と健康の週間です。

病気やけがを治すのに役立つ「薬」。正しく使わなければ思わぬ副作用を引き起こすこともあります。

使用方法が分からなかったり、不安なことがあれば、薬剤師や登録販売者などのお薬の専門家から適切なアドバイスを受け、正しくお薬のことを理解してから使用しましょう。

[保健企画課 29-1257]

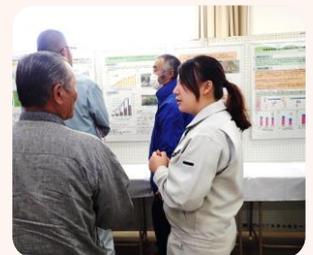
### 産地研究室参観デー

日時：11月2日（土）10：00～13：00

※「農大祭」と同時開催

場所：農林大学校2階第1教室

最上地域の園芸作物の試験研究の成果や、現在取り組んでいる研究内容についてパネル展示するほか、試食、相談コーナーもありますので是非お越しください。



[産地研究室 22-2201]

募集中

- エプロン男子フォトコンテスト in 最上 10月31日まで
- 第4回最上小国川写真コンテスト 11月30日まで



エプロン男子  
最上小国川



発行日：令和元年10月1日

発行元：山形県最上総合支庁総務企画部総務課

総合案内窓口

電話：0233-29-1360 FAX：0233-23-2605



Twitter



HP

日本の滝百選。山形県からは3つ、そのうち最上地域から1つ選ばれているよ！どこの滝かな？エコポリス通信の中の答えを探してみようね～！

